

自己評価についての分析

○保育指導

ほとんどの項目で評価が上がった。「物事に対する善悪の判断」については 3.8 と評価が良かった。日々の保育の中で、してはいけない事と良い事について子供達に守ってほしいという思いを持って指導する様心掛けていた為だと考えられる。

○保護者との連携

クラスだよりや伝書鳩等を活用し園生活の様子を発信したり、ブログで園生活や行事の様子が見られると好評だった。又、保護者から直接話を聞き子どもとの関わりに活かしたりしている事で評価の維持につながっていると考えられる。

○安全面

全体的に評価が上がった。避難訓練においては、毎月様々な状況で行い、終了後に各自反省点や改善点を話す機会を設けている為、安全に対する意識が上がり、落ち着いて対応が出来る様になってきたのではないかと考えられる。

○衛生管理

全体的に評価が上がった。今年度は新型コロナウイルスが流行した為、今まで以上に感染症対策に取り組むようになった。職員や園児のマスクの着用やアルコール消毒、保育室内の加湿、換気等徹底し、気を付けて行っていたからではないかと考えられる。

○学級経営

どちらの項目も評価が上がっている。各学年、担任同士が協力し合い保育に臨んでいる様子がうかがえる。

○研修

「園内・外での研修への参加」においては評価が下がった。園内で研修や保育の質をより良くする為に様々な取り組みは行っているものの、園外となると今年度は新型コロナウイルスの影響によりほとんどが中止となり、参加出来ていないからではないかと考えられる。

○その他

全体的に評価が上がった。なかでも、「清泉幼稚園の職員としての自覚と責任」は昨年度に引き続き高評価となっている。一人一人の職員が清泉幼稚園の職員として、高い意識を持ち保育にあたっていると考えられる。

○まとめ

昨年度に比べ、評価が上がった項目がほとんどであった。コロナの流行で不安な日が続いているが、そのような状況の中で求められる対応に戸惑いながらも、職員間で情報共有したり協力したりしながら、より良い保育をしていける様今後も努めていきたい。